

2019年11月期 第2四半期

決算説明会



株式会社マルカ

証券コード：7594

2019年7月17日

キカイを超えた、 その先へ。

2019年4月1日、マルカキカイ株式会社は、
株式会社マルカに社名変更しました。

自らが変わることの可能性を広げ、世界中のモノづくりに貢献したい。
マルカは機械専門商社の枠を超え、真のグローバル企業を目指します。
日米中亜の4極体制を推進するビジョンをシンボライズしたマークと、
世の中にない唯一の企業を目指すスローガン“Unique Solutions”を掲げ
マルカ独自の他にないソリューションビジネスを提供してまいります。



株式会社マルカ

〒540-0024 大阪市中央区南新町二丁目2番5号 <http://www.maruka.co.jp/>

上場市場：東証一部/証券コード：7594

1.	2019年11月期 第2四半期決算の概要	
①	2019年11月期 第2四半期決算	4
②	産業機械部門の業績	13
③	建設機械部門の業績	18
2.	2019年11月期 業績予想及び営業戦略の進捗	
①	2019年11月期 業績予想	22
②	営業戦略の進捗（産業機械・グローバル機材部門）	24
③	営業戦略の進捗（建設機械部門）	29
④	トピックス	30
⑤	株主還元	32
	(補足資料)	
	会社の概要	34

2019年11月期 第2四半期 決算の概要

(2018年12月1日～2019年5月31日)

売上高は、産業機械の販売が好調に推移し、前年同期比12.1%増

経常利益は、売上総利益の増加により、前年同期比6.8%増

四半期純利益は、固定資産売却益の計上等により前年同期比134.2%増

■ 産業機械部門は、自動車業界向けの販売が堅調に推移し、前年同期比12.3%増

■ 建設機械部門は、基礎機械の販売が伸長し、前年同期比11.1%増

国内売上高は、鍛圧機械の販売が伸長し、前年同期比18.7%増の193億円

海外売上高は、前年同期比4.5%増（海外売上高比率43.2%）

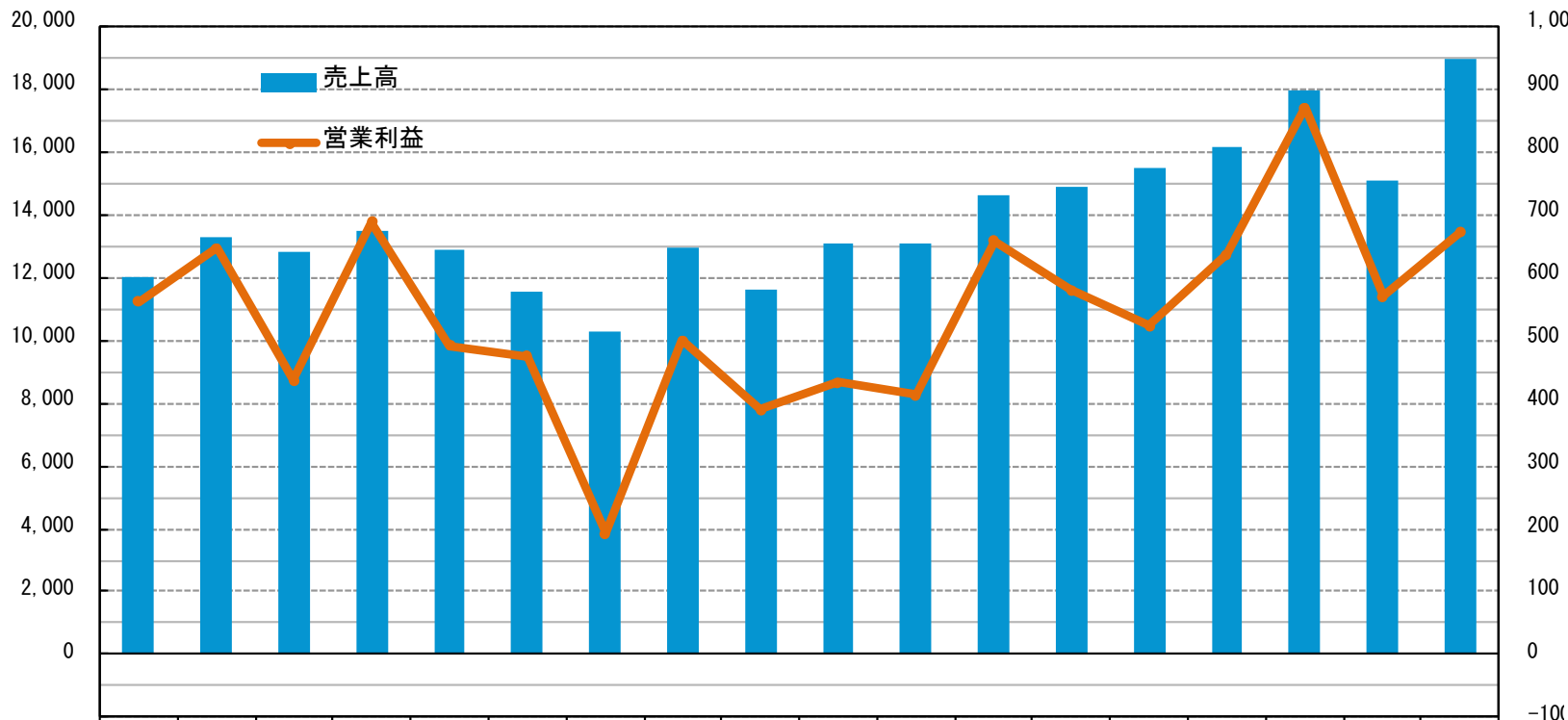
■ 米州は、射出成形機の販売が減少

■ 中国は、自動車業界向けに販売が好調

■ アジアは、主力拠点であるタイが堅調

売上高： 百万円

営業利益： 百万円





	15/1110	15/1120	15/1130	15/1140	16/1110	16/1120	16/1130	16/1140	17/1110	17/1120	17/1130	17/1140	18/1110	18/1120	18/1130	18/1140	19/1110	19/1120
売上高	11,999	13,300	12,824	13,469	12,905	11,535	10,310	12,957	11,597	13,071	13,084	14,611	14,915	15,469	16,164	17,963	15,108	18,954
営業利益	562	647	436	688	491	474	192	499	390	433	413	658	580	523	636	871	569	671

単位：百万円

	15/11期		16/11期		17/11期		18/11期		19/11期
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期
売上高	25,299	26,293	24,441	23,266	24,668	27,694	30,384	34,127	34,062
営業利益	1,209	1,182	965	691	823	1,071	1,103	1,507	1,240

第2四半期決算の概要

-  主力商品の販売が堅調。産業機械、建設機械とも二桁増収
-  増収効果により、経常増益

単位：百万円

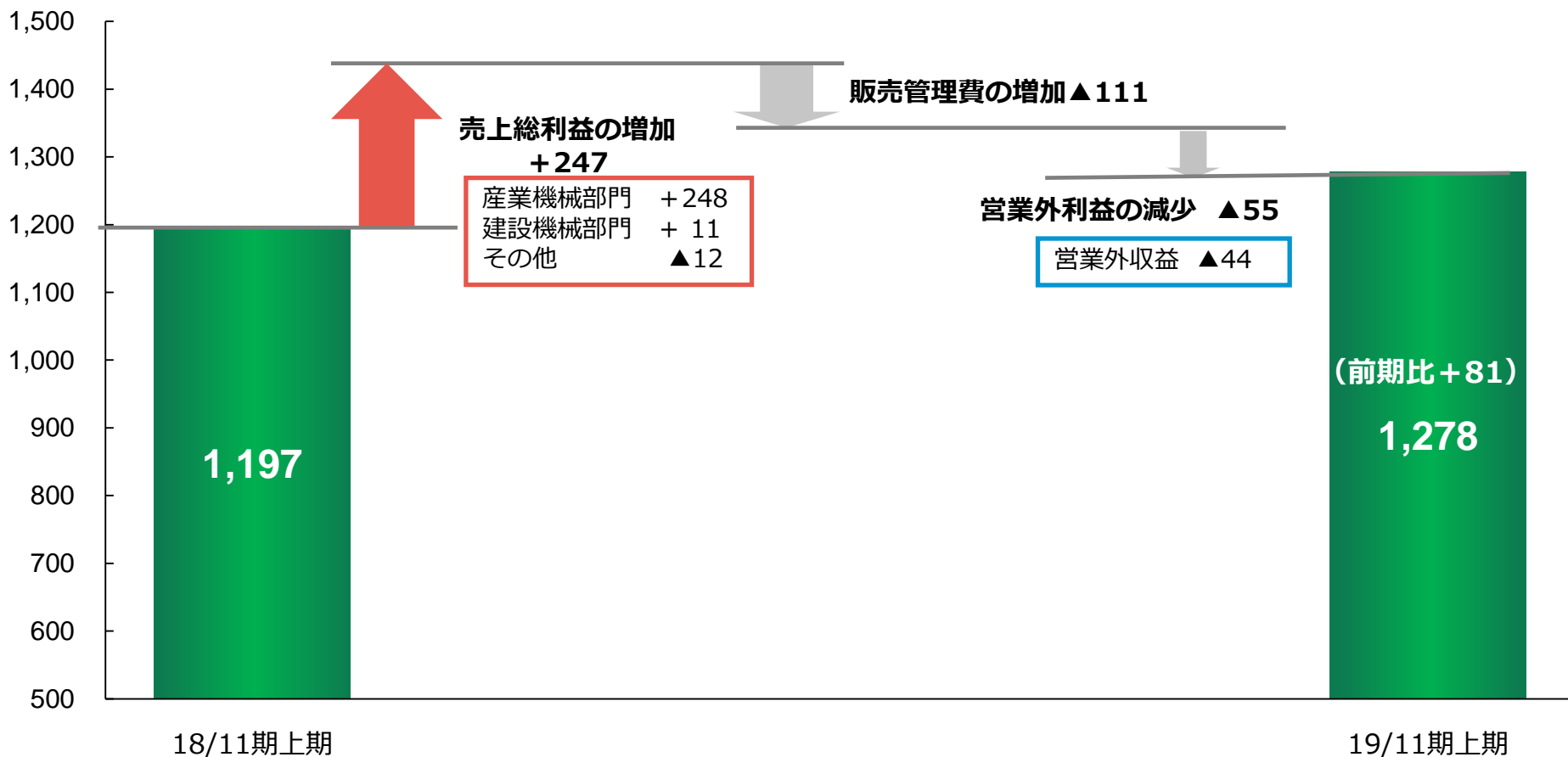
	18/11期 上期		19/11期 上期		前年同期比 (%)	期初計画 (19/1/15)	同計画比 (%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)			
売上高	30,384	100.0	34,062	100.0	12.1	32,000	6.4
産業機械	25,577	84.2	28,725	84.3	12.3	27,694	3.7
建設機械	4,778	15.7	5,307	15.6	11.1	4,274	24.2
その他	28	0.1	29	0.1	1.3	32	▲ 9.4
売上総利益	4,214	13.9	4,484	13.2	6.1	4,400	1.9
販売管理費	3,111	10.2	3,222	9.5	3.6	3,200	0.7
営業利益	1,103	3.6	1,240	3.6	12.4	1,200	3.3
経常利益	1,197	3.9	1,278	3.8	6.8	1,300	▲ 1.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	721	2.4	1,690	5.0	134.2	1,600	5.6
1株当たり四半期純利益	85.14	—	200.07	—	—	190.16円	—

1株当たり配当金	20円	—	24円	—	+4円	22円	+2円
人	617人	—	658人	—	+41人	—	—

経常利益変動要因

- 売上総利益は、産業機械部門の貢献増加
- 人件費等の増加により、販売管理費が増加


単位：百万円



■ 主な増加要因は、人員増による人件費の増加

単位：百万円

	18/11期上期	19/11期上期	増減額	主な要因
人件費	1,755	1,933	177	人員増
旅費・交通費など	345	374	28	
営繕・事務用品など	91	70	▲ 20	
減価償却費	66	63	▲ 3	
その他	852	780	▲ 71	貸倒引当金繰入額
合計	3,111	3,222	111	


 総資産は現預金の減少、固定資産の売却により減少
 負債は仕入債務の支払により減少

資産

	18/11期末	19年11期 上期末	備考
現金預金	10,205	9,535	
売上債権	22,649	22,559	受取手形 ⁹¹⁰ 売掛金 ▲1,201
その他流動資産	7,389	7,094	
有形固定資産	6,397	5,769	土地▲687
無形固定資産	338	313	
その他固定資産	2,031	2,315	
総資産	49,012	47,588	

負債・純資産

単位:百万円

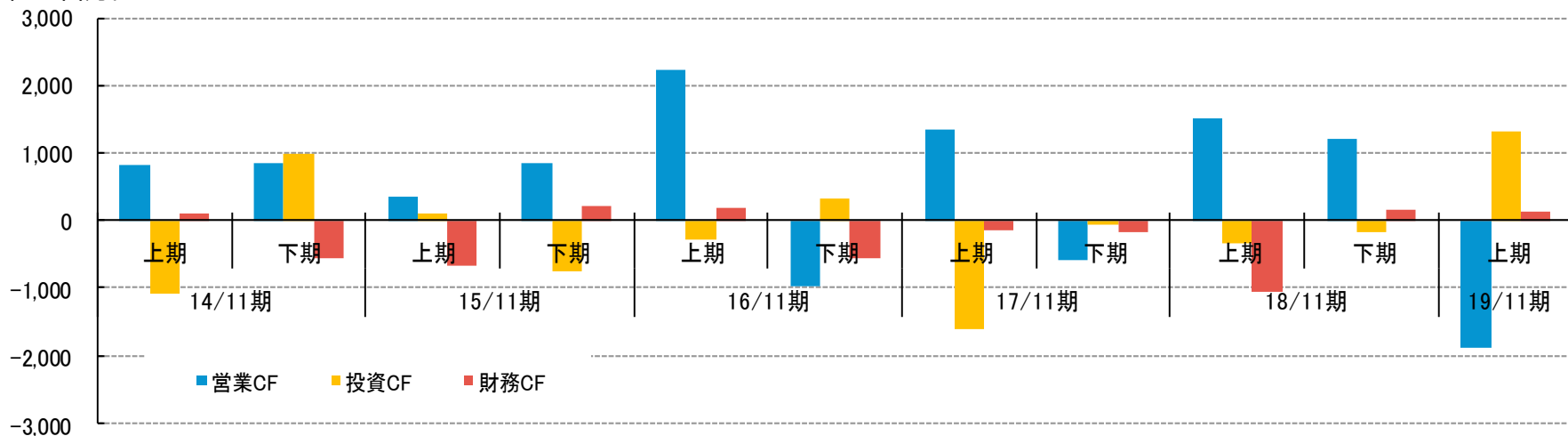
	18/11期末	19年11期 上期末	備考
仕入債務	22,354	19,588	電子記録債務▲610 買掛金▲2,117
短期有利子負債	436	805	借入金 332 (マルカアメリカ)
その他流動負債	4,560	4,047	前受金▲564
長期有利子負債	297	288	
その他固定負債	290	245	
負債	27,938	24,974	
純資産	21,073	22,613	剰余金の配当(▲216 百万円)、四半期純利 益の計上(1,690百万 円)

キャッシュフローの推移

単位：百万円

	14/11期		15/11期		16/11期		17/11期		18/11期		19/11期
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期
営業活動によるCF	816	846	357	849	2,221	▲ 975	1,333	▲ 590	1,515	1,212	▲ 1,890
投資活動によるCF	▲ 1,089	981	101	▲ 748	▲ 288	334	▲ 1,598	▲ 73	▲ 344	▲ 185	1,327
フリーキャッシュフロー	▲ 273	1,827	458	101	1,933	▲ 641	▲ 265	▲ 663	1,171	1,027	▲ 563
財務活動によるCF	113	▲ 559	▲ 665	219	195	▲ 551	▲ 135	▲ 181	▲ 1,066	145	131
期末現金残高	7,274	8,680	8,698	8,723	10,724	9,398	8,993	8,144	8,254	9,424	8,996
設備投資額	175	122	200	370	88	752	1,450	811	186	516	378
減価償却費	125	133	99	111	119	133	136	173	155	170	180

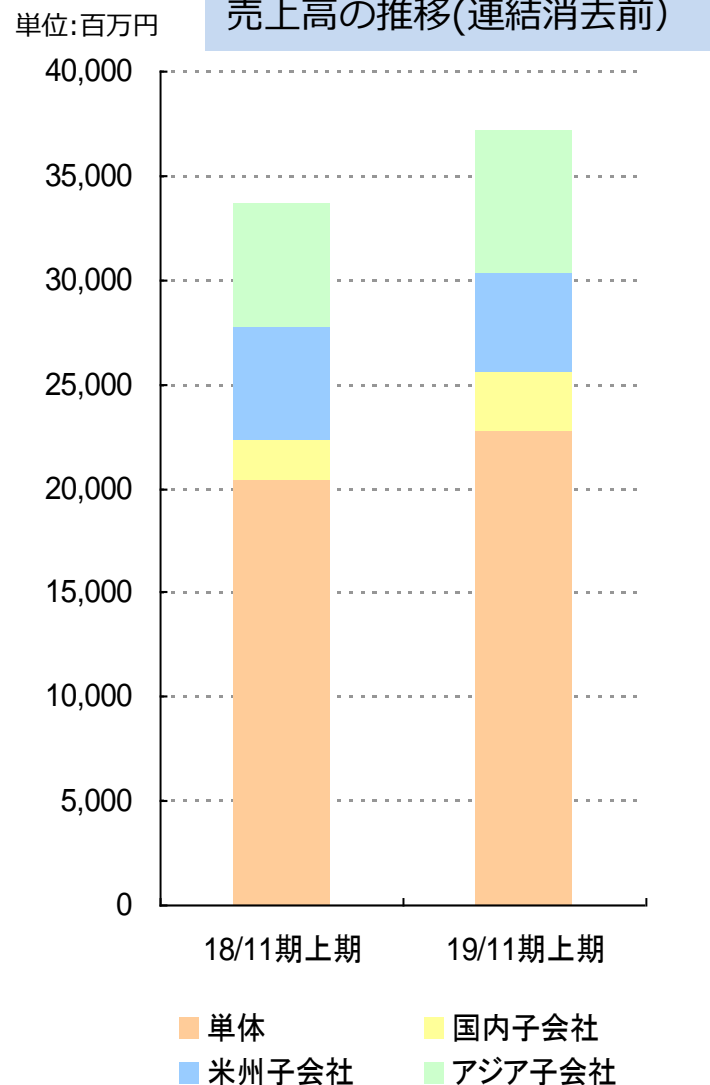
単位：百万円



国内はマルカ単体、子会社とも堅調。米州子会社が苦戦

単位:百万円

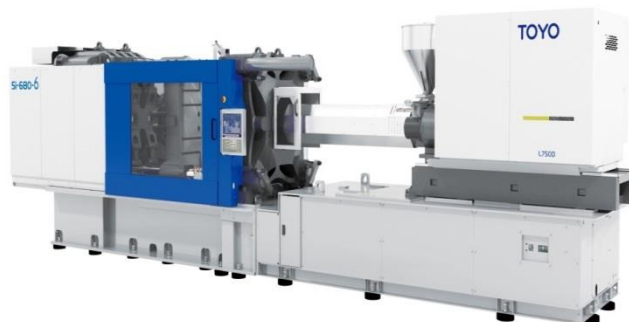
	売上高		営業利益		経常利益	
	18/11期	19/11期	18/11期	19/11期	18/11期	19/11期
	上期	上期	上期	上期	上期	上期
連結	30,384	34,062	1,103	1,240	1,197	1,278
単体	20,336	22,752	816	898	968	1,094
国内子会社	1,946	2,824	41	87	68	112
海外子会社	11,394	11,562	253	239	261	237
連結消去	▲ 3,291	▲ 3,077	▲ 7	15	▲ 101	▲ 166



売上高の前上期対比

マルカキカイ単体	国内子会社	米州子会社	アジア子会社
➡	➡	➡	➡

産業機械部門



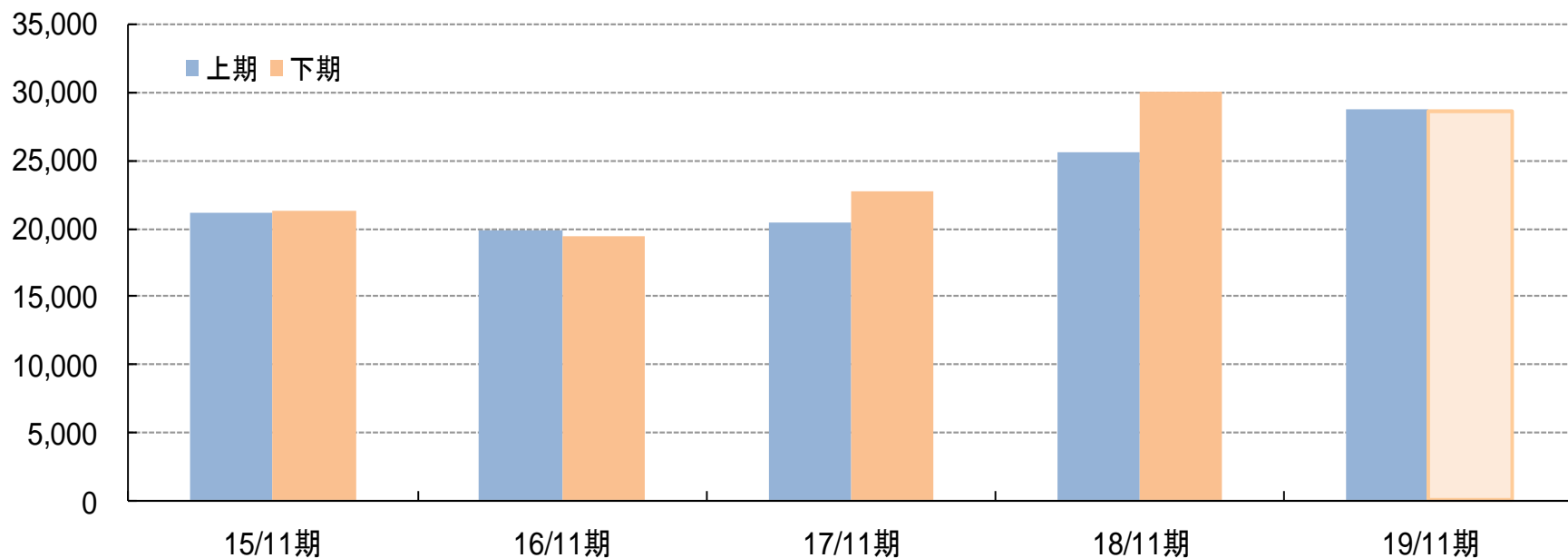
国内向けが好調に推移し、前上期を上回る水準

単位：百万円

	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期	前年同期比(%)
上期	21,104	19,824	20,483	25,577	28,725	12.3
下期	21,379	19,378	22,748	30,040	28,595	△ 4.8
合計	42,483	39,202	43,231	55,617	57,320	3.1

単位：百万円

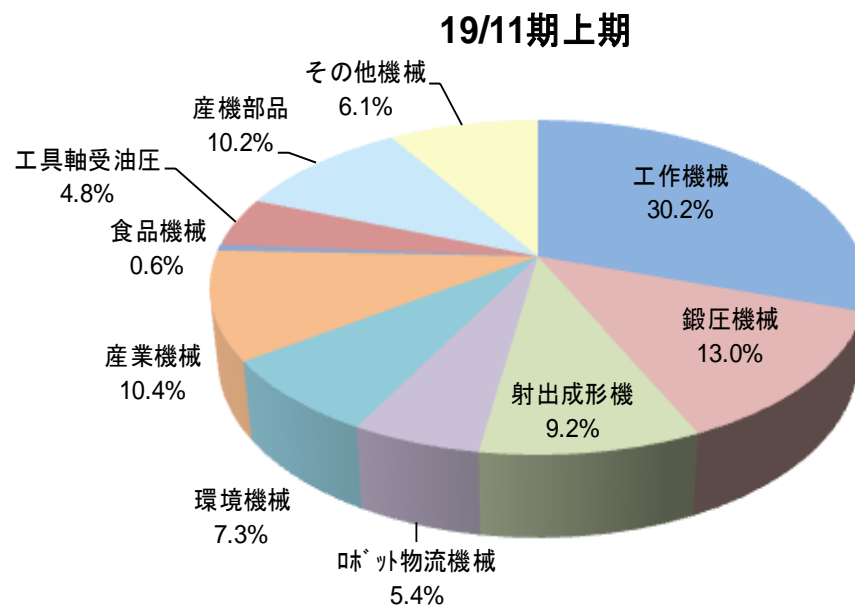
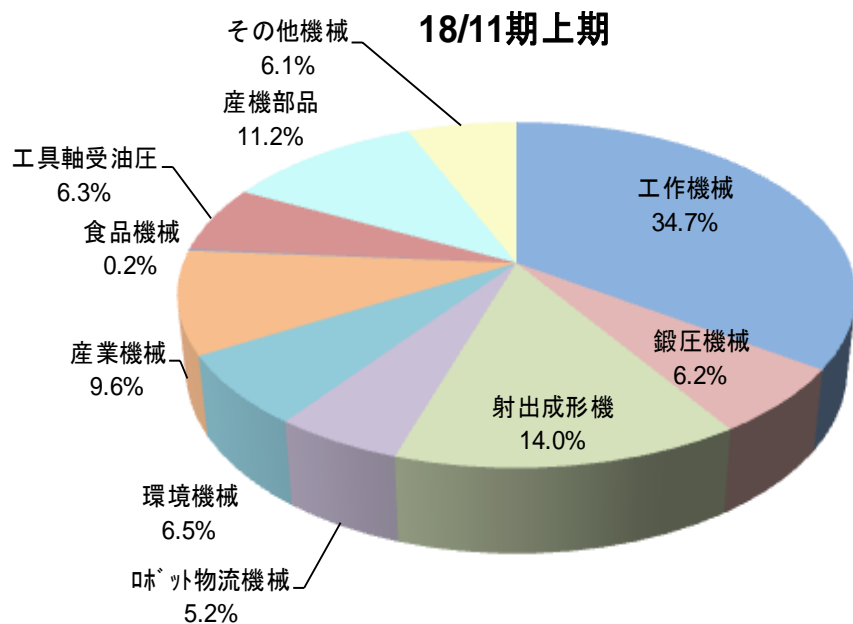
※19/11期下期・合計は計画数値



■ 鍛圧機械が大幅増、ロボット・物流機械、環境機械も好調
■ 主力の工作機械が低調、射出成形機も減少

単位：百万円

	産業機械計										
	工作機械	鍛圧機械	射出成形機	ロボット 物流機械	環境機械	産業機械	食品機械	工具軸受 油圧	産機部品	その他 機械	
18/11期上期	8,874	1,582	3,572	1,323	1,673	2,463	42	1,602	2,855	1,586	
19/11期上期	8,678	3,739	2,632	1,546	2,108	2,999	182	1,370	2,939	2,527	
前年同期比 (%)	△ 2.2	136.2	△ 26.3	16.9	25.9	21.8	327.0	△ 14.5	2.9	59.3	



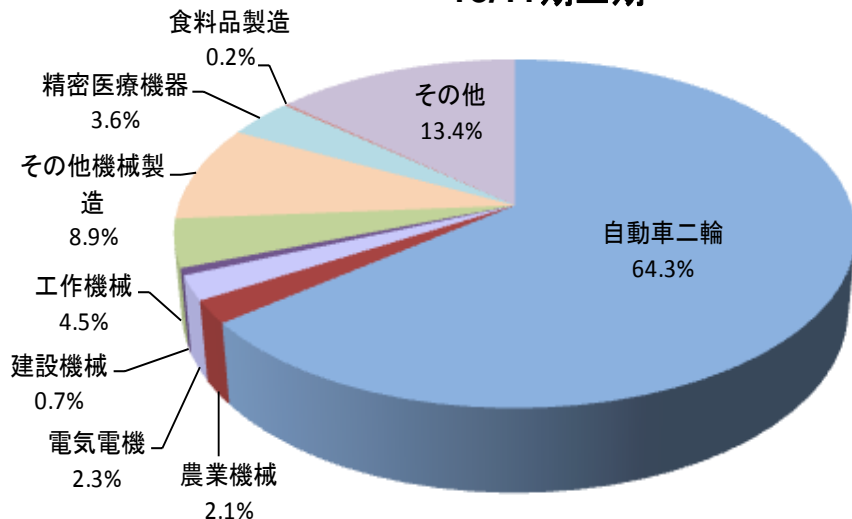
※ グラフ内「%」は産業機械部門の売上高に対する比率

自動車業界向けが堅調。農業機械業界や精密医療機器業界向けも伸長

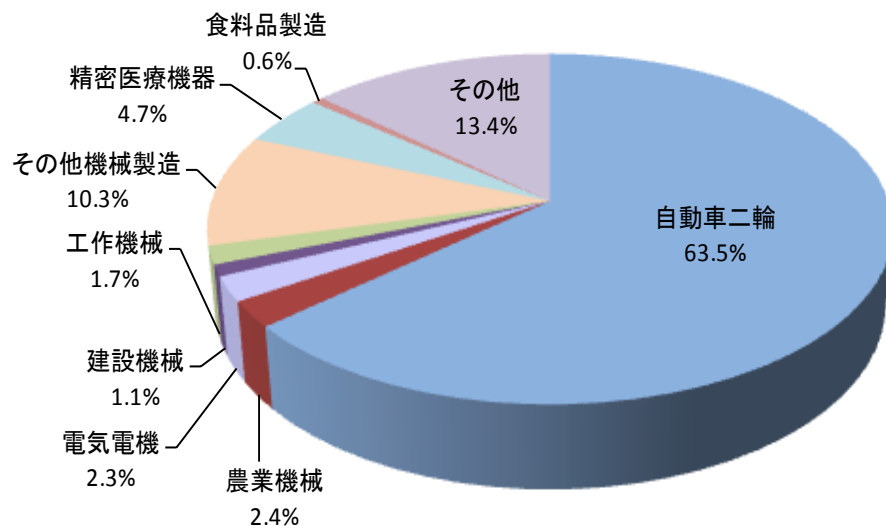
単位：百万円

	産業機械計									
	自動車 二輪	農業機械	電気電機	建設機械	工作機械	その他 機械製造	精密医療 機器	食料品 製造	その他	
18/11期上期	25,577	544	581	167	1,141	2,271	933	47	3,451	
19/11期上期	28,725	693	651	304	482	2,967	1,348	176	3,850	
前年同期比 (%)	12.3	27.4	12.1	81.4	△ 57.7	30.7	44.5	271.5	11.5	

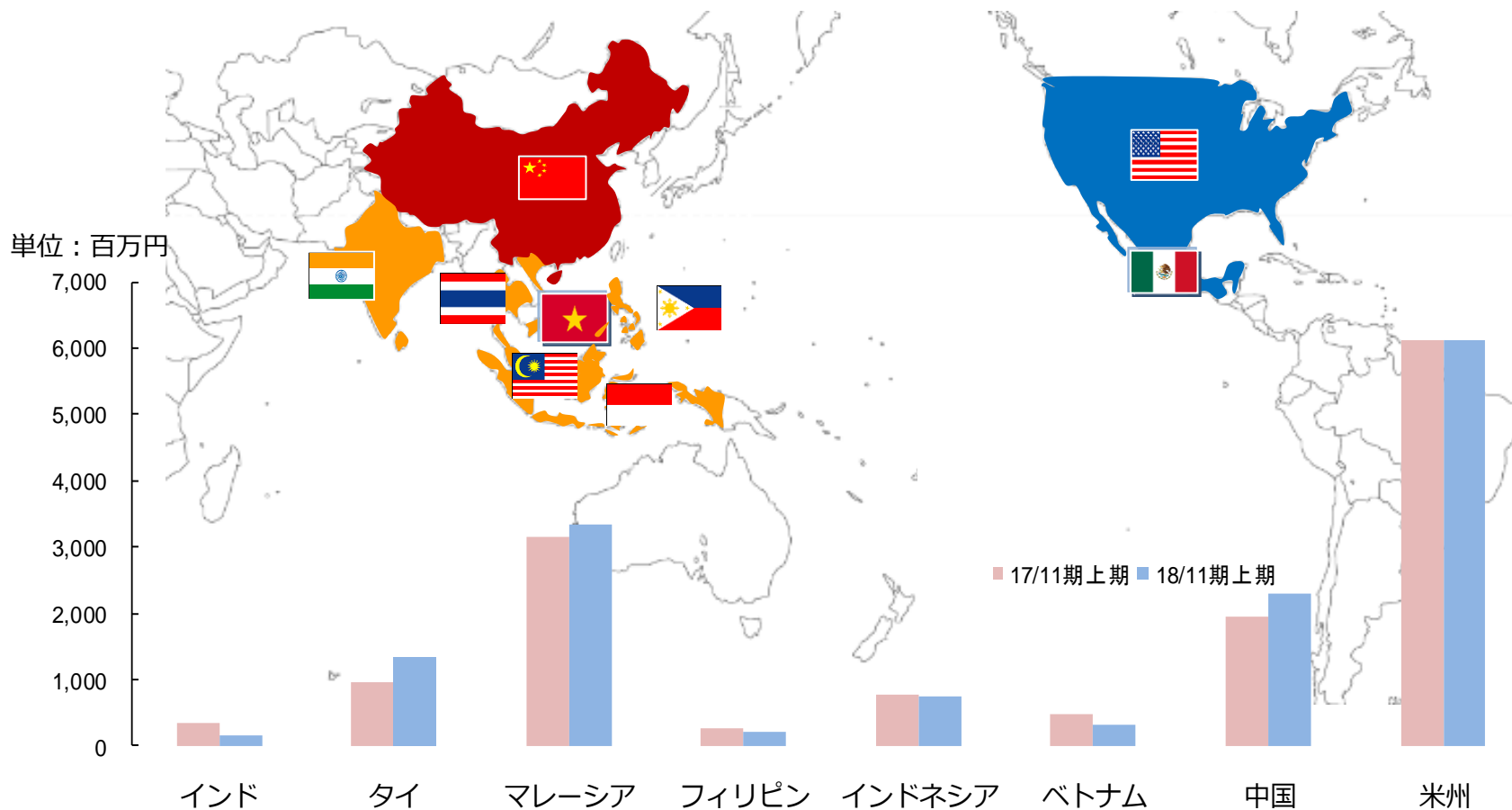
18/11期上期



19/11期上期



※ グラフ内「%」は産業機械部門の売上高に対する比率



単位：百万円

拠点	インド	タイ	マレーシア	フィリピン	インドネシア	ベトナム	中国	米州	その他	海外計
18/11期上期	345	950	3,147	262	767	467	1,953	6,133	20	14,049
19/11期上期	159	1,328	3,328	197	739	318	2,292	6,132	93	14,590
前年同期比(%)	△ 54.0	39.7	5.8	△ 24.8	△ 3.7	△ 31.8	17.4	0.0	348.3	3.9

建設機械部門



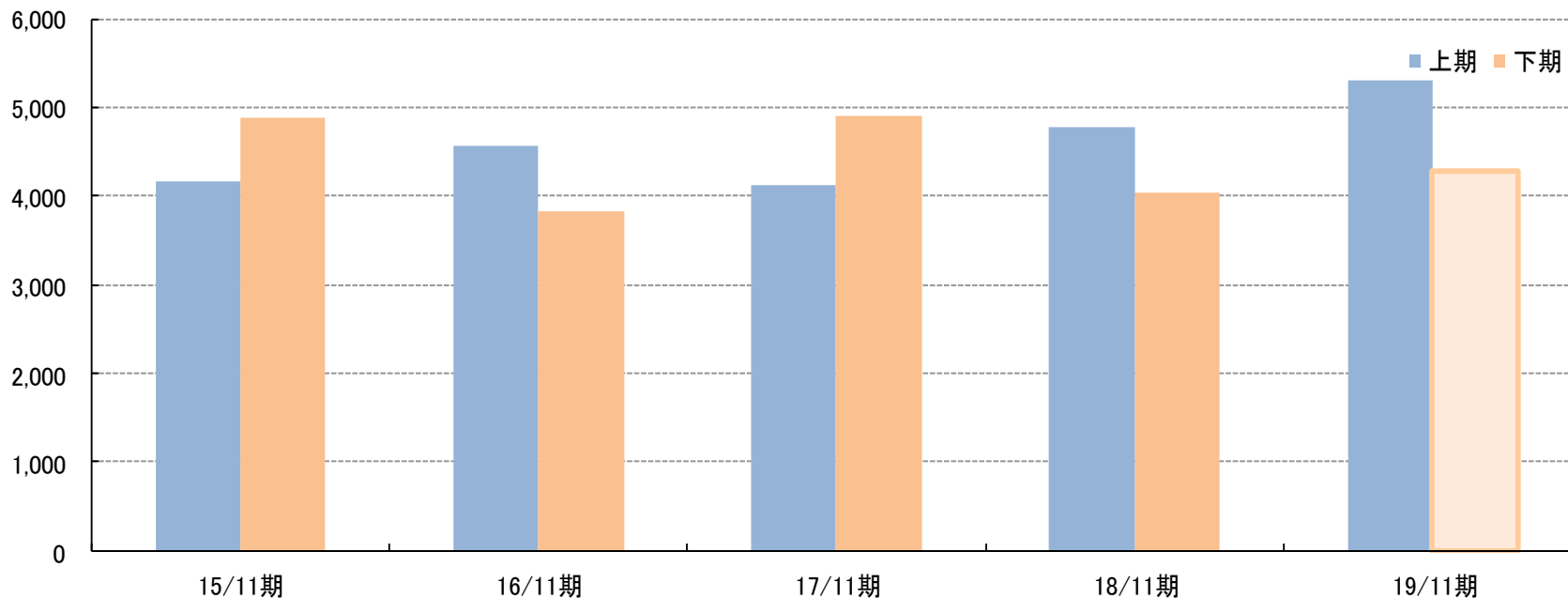
基礎機械の販売が伸長し、前上期を上回る水準

単位：百万円

	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期	前年同期比(%)
上期	4,165	4,573	4,124	4,778	5,307	11.1
下期	4,878	3,829	4,902	4,047	4,293	6.1
合計	9,043	8,403	9,026	8,825	9,600	8.8

単位：百万円

※19/11期下期・合計は計画数値

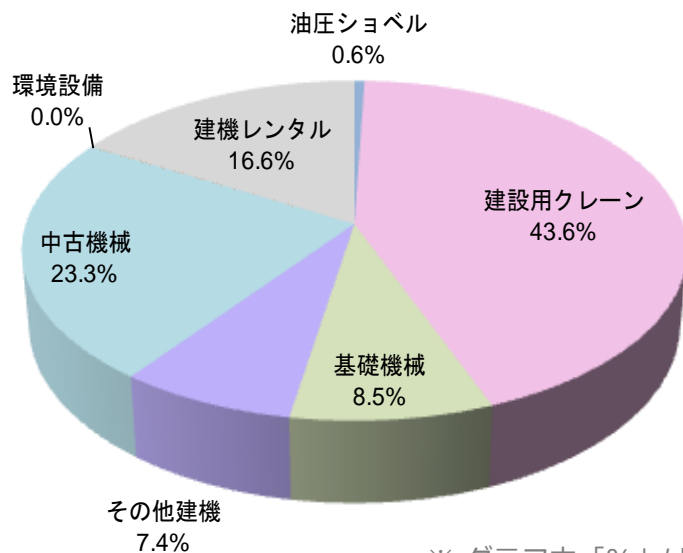


主力の建設用クレーンが減少も、基礎機械が大幅増

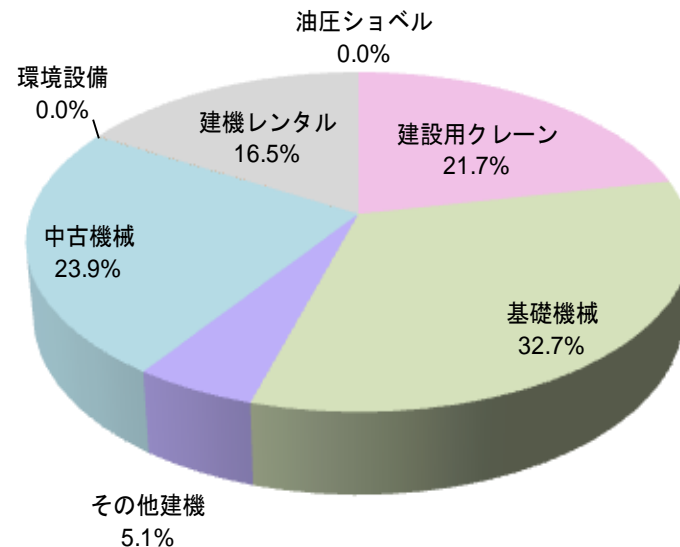
単位：百万円

	建設機械計							
	油圧 ショベル	建設用 クレーン	基礎機械	その他 建機	中古機械	環境設備	建機 レンタル	
18/11期上期	4,778	27	2,082	406	355	1,110	1	793
19/11期上期	5,307	-	1,153	1,737	271	1,268	1	876
前年同期比(%)	11.1	▲ 100.0	▲ 44.6	327.6	▲ 23.6	14.2	0.7	10.3

18/11期上期



19/11期上期



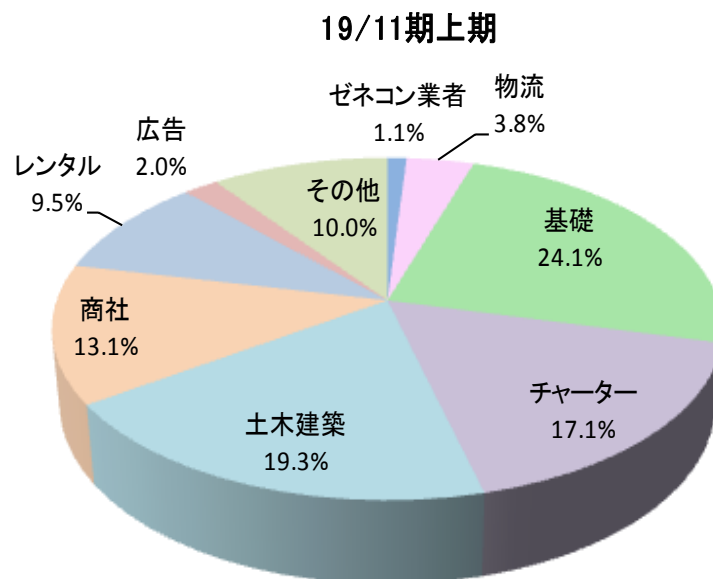
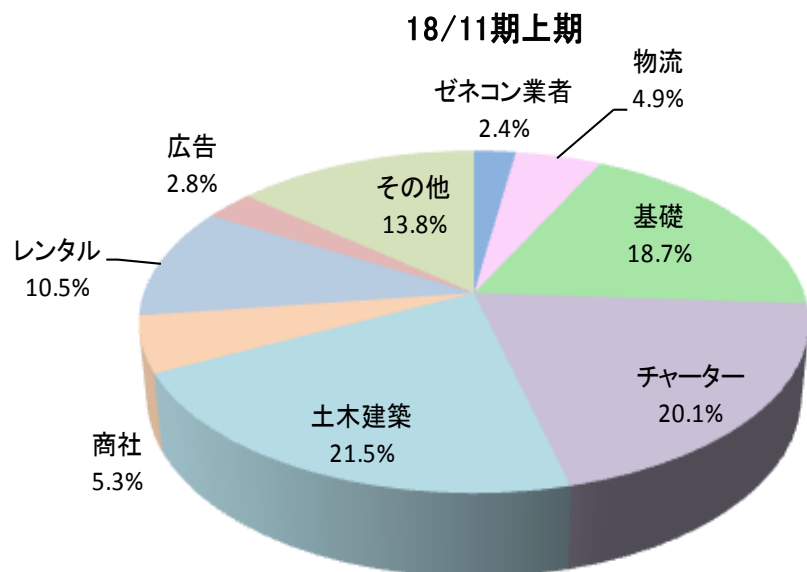
※ グラフ内「%」は建設機械部門の売上高に対する比率

基礎業界向けや商社向けが増加

単位：百万円

	建設機械計									
		ゼネコン 業者	物流	基礎	チャーター ※	土木 建築	商社 (輸出)	レンタル	広告	その他
18/11期上期	4,778	113	234	894	958	1,028	252	503	132	660
19/11期上期	5,307	57	202	1,276	907	1,024	695	505	105	532
前年同期比(%)	11.1	▲ 49.3	▲ 13.6	42.8	▲ 5.3	▲ 0.4	175.7	0.4	▲ 20.7	▲ 19.4


※チャーター＝オペレーター付きで、クレーンの吊上げ作業等を請け負う工事業者



※ グラフ内「%」は建設機械部門の売上高に対する比率

2019年11月期 業績予想及び営業戦略の進捗

(2018年12月1日～2019年11月30日)

 中期経営計画3年目。更なる飛躍を目指す

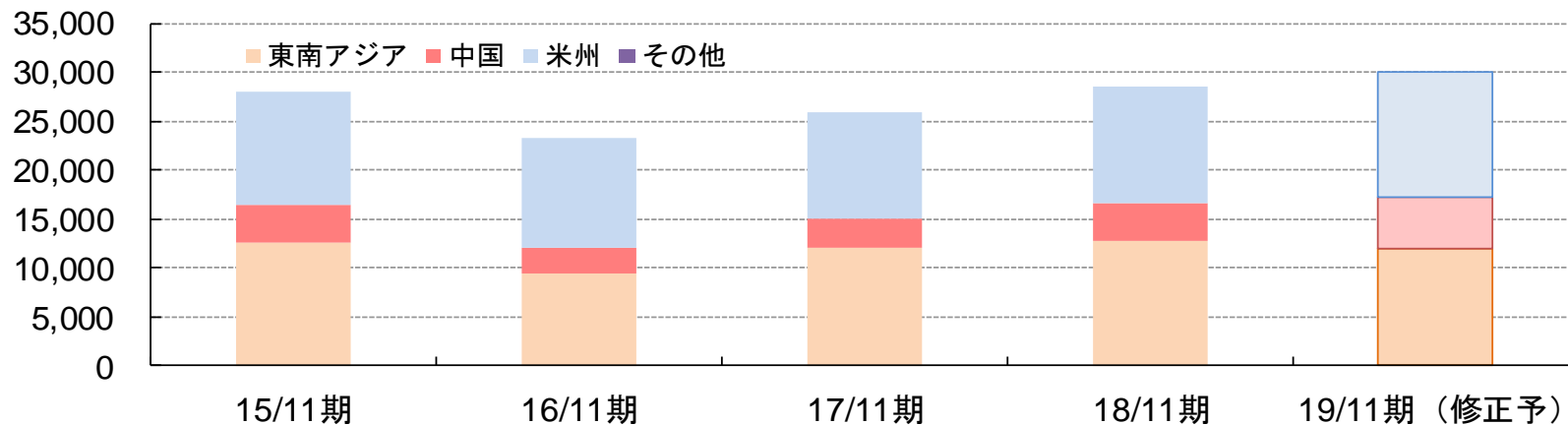
単位：百万円

	18/11期	19/11期予想			前期比 (%)
		上期	下期	通期	
売上高	64,511	34,062	32,938	67,000	3.9
産業機械	55,617	28,725	28,595	57,320	3.1
内、グローバル機材	9,422	4,501	5,399	9,900	5.1
建設機械	8,825	5,307	4,293	9,600	8.8
その他	68	29	51	80	17.6
売上総利益	8,829	4,484	4,816	9,300	5.3
販売管理費	6,202	3,222	3,378	6,600	6.4
営業利益	2,610	1,240	1,460	2,700	3.4
経常利益	2,850	1,278	1,622	2,900	1.7
親会社に帰属する当期純利益	1,922	1,690	1,010	2,700	40.5
1株当たり当期純利益	227.64円	200.07円	120.82円	320.89円	—
期末(想定)為替レート米ドル/円	113円49銭	—	—	107円00銭	—
1株当たり配当金	45円	24円	25円	49円	—

単位：百万円

	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期 (期初予想)	19/11期 (修正予想)
米州	11,528	11,279	10,916	11,978	14,200	12,000
中国	3,806	2,680	2,840	3,909	4,600	5,300
東南アジア(含むインド)	12,680	9,393	12,153	12,771	14,700	12,700
その他	276	4	0	15	0	100
海外売上合計	28,292	23,357	25,910	28,674	33,500	30,100
海外売上高比率(%)	54.8	49.0	49.5	44.4	50.0	45.0
期末為替レート	122円82銭	112円42銭	112円07銭	113円49銭	107円00銭	107円00銭

単位：百万円



米 州

事業環境 米中貿易摩擦の悪化懸念により、下期以降も不透明感が続くと予想

● 北米における工作機械販売テリトリーの拡大

- ・今上期の北米における工作機械の売上高は、自動車業界を中心に25億円（前年同期比21%増）

● I T I 社、管製作所製品とのシナジーの更なる強化

- ・今上期の I T I 社の売上は、MM部門とのシナジー効果により4.1億円（前年同期比9%増）
- ・管製作所製品は、シンシナティに同社の駐在員を配置し販売強化中

● 北米市場における電動射出成形機の大型機、縦型機の販売強化

- ・今上期北米電動機シェア6.1%
- ・今上期販売台数は67台の実績、今期目標140台

● Fu-Chun-Shin製（台湾射出成形機メーカー）製油圧式プラスチック成形機の販売強化

販売台数/台	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期 予想(上期)
FCS成形機	15	9	21	25	30(8)

● メキシコ市場における日系マーケット深耕、非日系ユーザーへの拡販

- ・今上期のメキシコ向け販売は、自動車業界向けを中心に工作機械の売上が伸長

東南アジア

事業環境

上期は消費を支えに底堅い成長が続くも、下期は海外経済の減速により輸出が鈍化、設備投資は停滞すると予想

● 重点商品、MM会商品、食品機械の拡販。部品・サービス販売の一層の拡大 （注力業界・商品）

- ・タイ・マレーシア = 工作機械、ロボット・搬送機械の売上が増加、食品機械の売上は8千7百万円
自動車部品の輸出事業は2019年8月末をもって撤退
- ・インドネシア = 自動車業界向けに工作機械の売上が増加
- ・ベトナム = 工作機械、鍛圧機械の売上が伸長するも、ロボット・搬送機械の落ち込みをカバー出来ず
- ・フィリピン = 主力商品の射出成形機、プレスの販売が振るわず
- ・インド = 工作機械の売上が大幅減

中国

事業環境 貿易摩擦の影響で輸出関連は減速感が強まるも、内需は堅調と予想

● **重点商品（東洋機械金属製品、コマツ産機製品）、省力化・自動化装置、MM会商品の拡販**

- ・今上期の東洋機械金属製品の販売は3台、コマツ産機製品の販売は8台、MM会商品は、管製作所の洗浄機を1台、大峰工業のコンベアを2ライン販売

● **中国地場系完成車メーカー及び日系自動車部品メーカーとの取引拡大**

- ・今上期において洗浄機を受注

● **中国製機械の取扱拡大**

売上高/億円	11/11期	12/11期	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期	
									上期	通期予想
中国製機械	9.0	13.0	18.0	16.0	13.3	10.4	8.3	8.3	13.0	20.0
台湾製機械	7.3	6.8	8.3	8.0	4.4	2.1	3.9	0.8	0.9	2.0

10億円
上方修正

日本

事業環境

世界的な景気減速懸念の影響で工作機械の受注は低迷も、人手不足を背景に自動化・省力化投資への需要は強まると予想

- **さらなる海外売上高の増加を目指した大手製造会社向け海外進出のバックアップ**
 - ・今上期の海外売上高は147億円で、前年同期比4.5%増（海外売上高比率は43.2%）
- **部品・消耗品・サービス売上のさらなる拡大**

売上高/億円	11/11期	12/11期	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期	
									上期	通期予想
部品・修理 消耗品	67	85	93	100	146	131	137	178	93	190

- **重点商品の射出成形機（東洋機械金属）、鍛圧板金機械（コマツ産機）の拡販**
 - ・今上期の国内取引実績は、射出成形機（東洋機械金属）が25台、鍛圧板金機械（コマツ産機）は23台。
 - ・東洋機械金属の株式取得。更に関係強化を図り同社製品の販売拡大を目指す

● ロボットの更なる販売強化

- ・今上期のロボットシステムの国内取引実績は222台。今期は270台を目指す

● MM会商品の取扱いをさらに拡大（自動機組立機メーカーが新たに1社加入）

取扱高/億円	11/11期	12/11期	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期予想	
									上期	通期予想
MM会商品	15	33	36	43	39	35	34	53	30	60

● 新市場、成長分野への取り組み

（1）食品関連事業

- ・昨年12月に食品機械メーカー11社からなるF-MM会(FOOD MAKER&MARUKA)を発足
- ・2019年7月に食品機械製造会社の株式を取得し子会社化

（2）EV関連事業

- ・今上期のEV関連売上は8.5億円。今期は18億円の売上を目指す

日本

事業環境 建設投資を中心に底堅く維持、下期も安定した需要が見込まれる

● コンクリートポンプ車の全国展開及び安定販売台数の確保

- ・今上期の販売実績は、関西、関東、九州で計16台、2.4億円の売上高
今期は新車・中古合わせ30台を目指す

● 輸入建設機械商品の拡販

- ・今上期の販売実績は、ドイツERAKAT社の岩石掘削機アタッチメント1台
- ・その他の輸入機械商品の引合いも着実に増加してきており、下期以降に受注、売上を見込む。

商品	上期	下期	
	売上実績	受注目標	売上目標
イタリアMagni社のテレハンドラー	—	4台	1台
フィンランドKALMAR社のリーチスタッカー	—	1台	—
ドイツERAKAT社の岩石掘削機アタッチメント	1台	1台	2台
ドイツKEMROC社の切削機アタッチメント	—	2台	2台

● レンタル事業の安定化

- ・今上期のレンタル売上は前年同期比10%増の8.8億円
- ・ジャパンレンタルでは、54mの大型高所作業車2台体制により知名度がアップ、高所作業車関連のレンタル売上は前年同期比51%増の1.5億円

食品機械の販売拡大へ

取得の目的

- ✓ 新市場である食品業界向けビジネスの一環として、2019年7月1日付で、株式会社ミヤザワの株式を取得
- ✓ 国内外で中食業界へ、特に海外では東南アジアの食品製造会社向けに、食品機械の販売を拡大し、当社グループ内のシナジー効果を最大限に発揮することで、食品機械事業の更なる成長を目指す

会社の概要

名 称	株式会社ミヤザワ
所 在 地	長野県上伊那郡南箕輪村鳥居原8212番地2
代 表 者	代表取締役社長 宮澤 安三
事 業 内 容	食品機械製造、精密機械板金、精密部品加工、省力化機械製作、菓子製造販売等
資 本 金	35,500千円(発行済株式の総数710株)
設 立	1984年7月
取 得 株 式 数	610株（所有割合：85.9%）

工場



【伊那工場外観】



【PT MIYAZAWA INDONESIA外観】

製品



【丸刃スライサー】




【食品用ステンレスボール洗浄機】



【ボール反転機】

配当方針及び配当金の推移


 配当につきましては、安定配当を基本方針とし、財務体質の強化を図りながら、利益に見合った配当を行っていく予定です。総還元性向は40%を目指します

1株当たり配当金及び配当性向の推移

	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期 (期初予想)	19/11期 (修正予想)
中間配当	12円	15円	15円	17円	20円	22円	24円
期末配当	14円	20円	(※1) 22円 (記念2円)	23円	(※2) 25円 (記念2円)	25円	25円
年間配当	26円	35円	37円	40円	45円	47円	49円
配当性向	14.6%	17.9%	34.9%	27.7%	19.8%	14.6%	15.3%

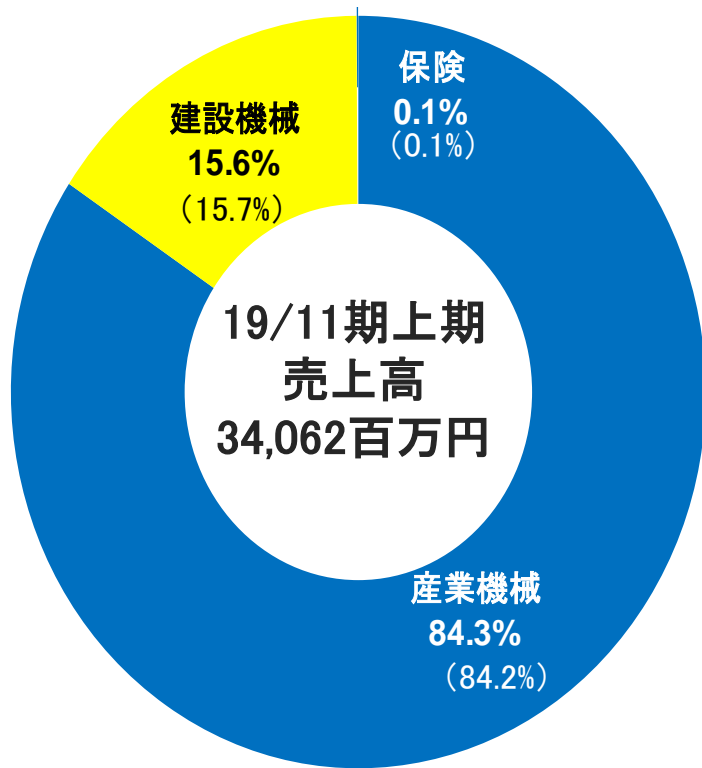
(※1) 創立70周年記念配当2円を含む (※2) 上場20周年記念配当2円を含む

*2015年11月期に約4.5億円、2016年11月期に約1.8億円、2017年11月期に約1.9億円、2018年11月期に約2.8億円の自社株を取得

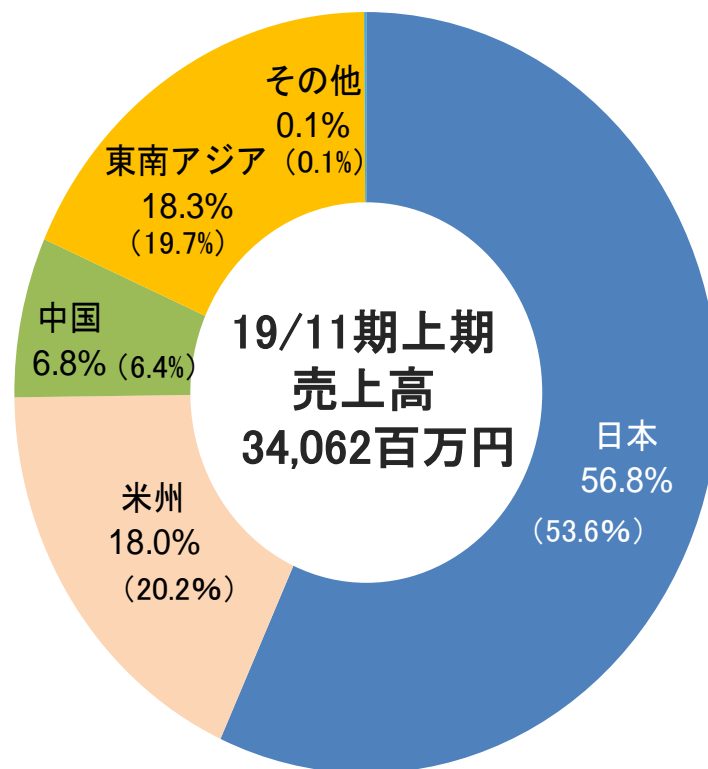
補足資料

日本・米国・中国・東南アジアで産業機械と建設機械の販売を行い、海外に進出する日系企業や現地企業との取引を拡大

部門別売上高構成



地域別売上高構成



※括弧内は18/11期上期売上高30,384百万円の構成比

※海外売上高には国内渡し海外仕向けを含む

生産工場の中で働く、物づくりに欠かすことのできない機械を販売

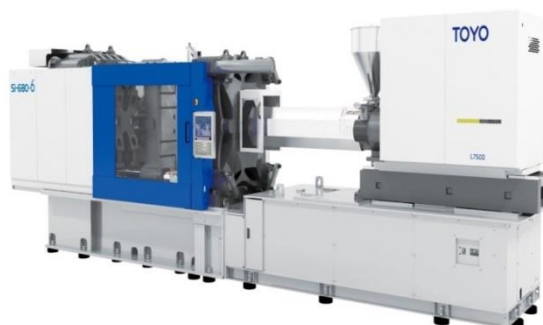
取扱い製品と主要取引メーカー

- ✓ 工作機械（東洋精機工業、村田機械、ジェイテクト、ツガミ、DMG森精機、OKK、ヤマザキマザック、牧野フライス、ファナック、中村留精密工業、高松機械製作所 等）
- ✓ 鍛圧機械（コマツ産機・ソノルカエンジニアリング）
- ✓ 射出成形機（東洋機械金属）
- ✓ ロボット・軸受・油圧（不二越）



例①工作機械（マシニングセンタ）

金属を精密加工する機械です。自動車のエンジンや様々な部品を加工します



例②プラスチック射出成形機

プラスチックの原料を溶かし、型に流し込み、圧力をかけて製品を作ります。CDや携帯電話等、プラスチック製品が作られます



例③産業用多関節ロボット

ハンドリングロボットです。人間に代わり、製品の搬送溶接等を行います

都市のインフラ整備に欠かすことのできない機械を販売・レンタル

取扱い製品と主要取引メーカー

- ✓ クレーン、ショベル（コベルコ建機）
- ✓ 杭打機・圧入機（技研製作所）
- ✓ アースオーガー（三和機工）
- ✓ 発電機（デンヨー）
- ✓ 地盤改良機（ワイビーエム）



例①クローラクレーン

重量物の吊上や運搬を行います



例②地盤改良機

住宅などの建築前に、
地盤の改良を行います



例③高所作業車

看板やディスプレイの取り付けの際に
活躍します

国内に13か所、米州に11か所、中国に4か所、東南アジア・インドに8か所の営業拠点を配置し、グローバルなサービス体制を整備

中国・東南アジア・インド

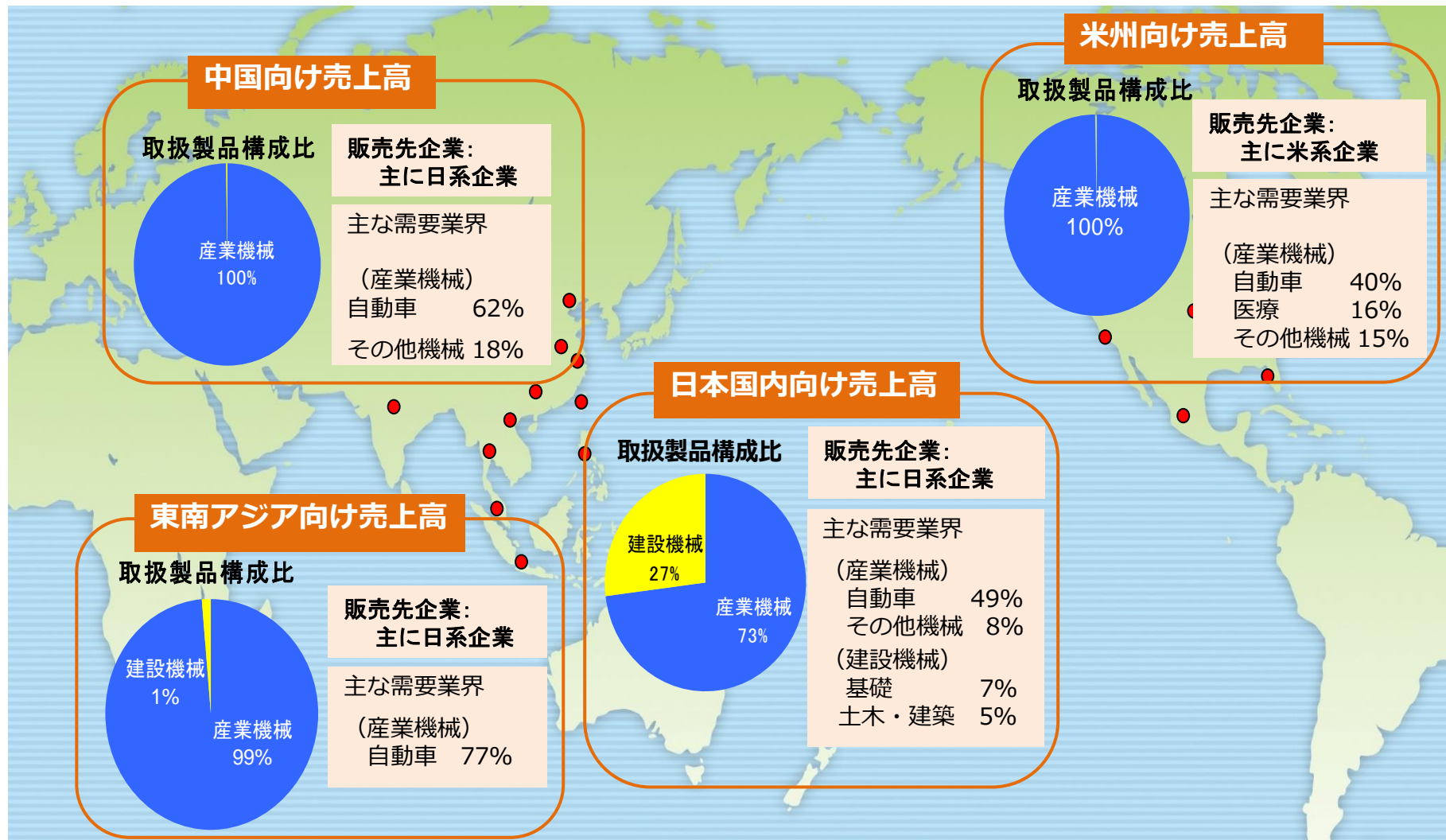


米州



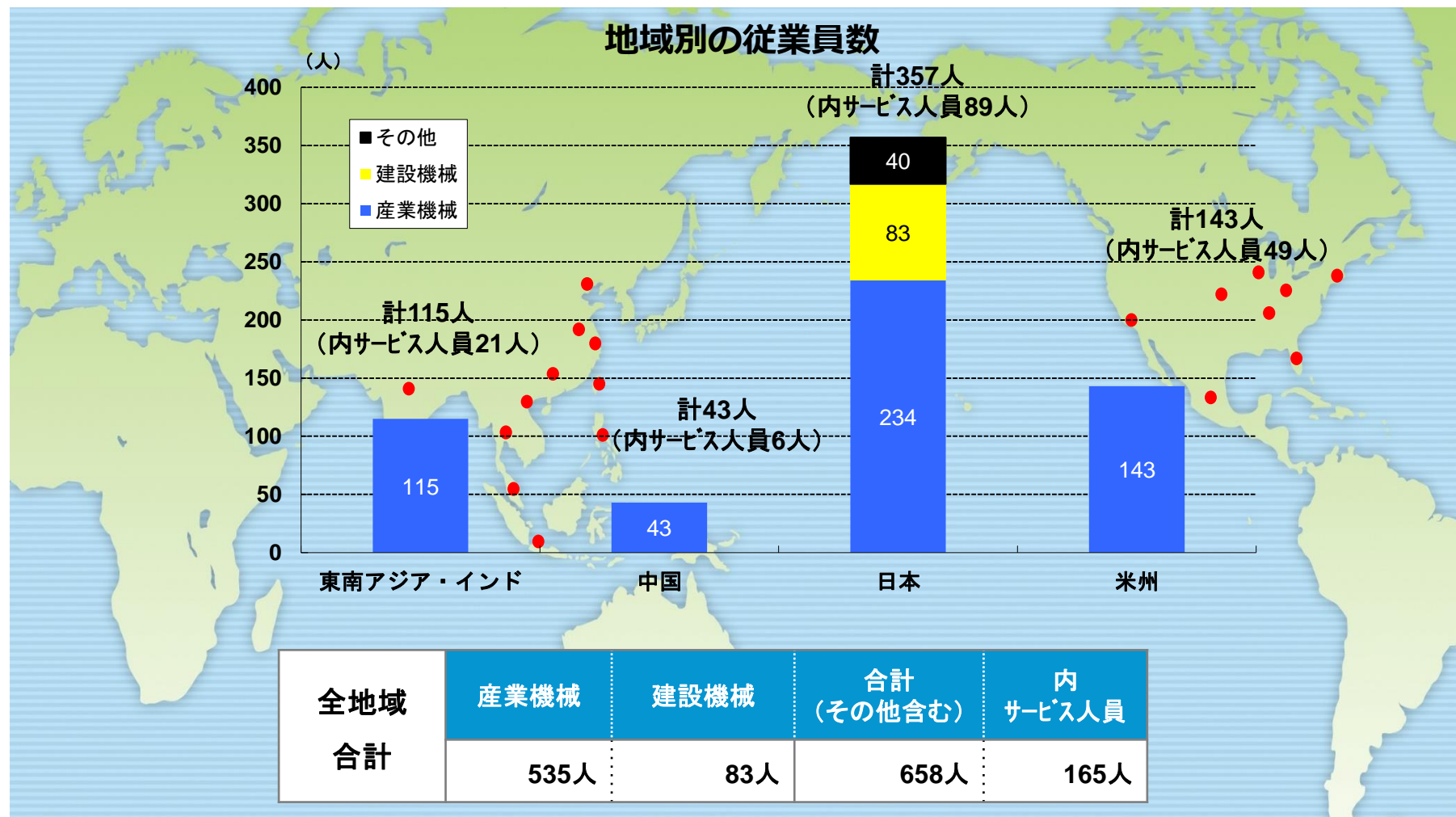
※ 2019年5月31日時点

日本・中国・東南アジアでは日系企業、北米では米系企業を主な販売先とし、世界4極で特徴のあるビジネススタイルを確立



※ 2019年5月31日時点

- 世界4極に658人を配置し、機械の販売及び部品・消耗品・サービスの取扱いを拡大
- サービス人員の育成に注力し、全体の約1/4超となる165人体制を構築



※ 2019年5月31日時点

お客様のニーズに合った、省力化省人化の向上システムを提案
ライナー括受注を目指し、付加価値の高いシステム構築

提案イメージ

お客様の生産ライン

素材

完成品

粗加工

精密加工

バリ取り

取出し

搬送 (マテハン)

納入機械



工作機械

(中国・台湾・韓国製)



工作機械 (日本製)



洗浄装置 (日本製)



搬送装置 (日本製)


MM（マルカ・メーカー）会

機械専門商社であるマルカキカイと専門分野で優秀な技術を有するメーカーが協力し、販売ならびに新商品の共同開発を目的として発足。「お客様のニーズ」と「メーカーの技術」それに「マルカの持つ情報・知識」この3者の密接な連携によるシステムの構築が、当社の提案型営業を支える柱の一つとなっています。

2019年5月末日現在の会員メーカー数は、25社となっています

会員企業	事業内容	所在地
(株)大鋳	ショットブラストマシン（ジクストリッパー）、各種研掃材	大阪府高槻市
大峰工業(株)	チップコンベア、ノタッチシステム、ツイン200	大阪市北区
(株)光栄製作所	油圧プレス、誘導加熱システム	兵庫県宝塚市
先生精機(株)	プログラムレス自動面取機、バリ取専用機、3Dインラインチェッカー	静岡県清水市
(株)コスモテック	プレス修理	名古屋市緑区
千代田工業(株)	パイプバンダー、パイプ自動加工機、FA省力機器	大阪市淀川区
(株)ユーテック	各種生産システムの設計製造、各種検査機の設計製造	大分県臼杵市
三愛エコシステム(株)	産業廃棄物適正処理システム・処理機器の設計製造販売	神奈川県厚木市
(株)紀和マシナリー	工作機械の製造販売	三重県名張市
高橋金属(株)	各種非標準洗浄装置製造、電解イオン水生成装置製造	滋賀県長浜市
(株)富士精機販売	油圧単能盤・NC旋盤・単能盤NC旋盤をベースにした専用機・穴明専用機の設計製作、自社設備用の自動化、搬送装置検査装置等の販売	愛知県小牧市

(次頁に続く)

会員企業	事業内容	所在地
(株)大進工業研究所	自動ろう付機・ろう付補助材料の製造販売、耐蝕耐熱耐摩耗金属による盛金精密鋳造品加工	大阪市大正区
ターゲット・エンジニアリング(株)	各種自動化設備の設計製造	京都市伏見区
電元社トーア(株)	各種抵抗溶接機・特殊専用機・治具・省力化機器の製造販売	神奈川県川崎市
(株)ワイエムジー	オートローダー装置、ロボットシステム装置、自動化装置設計・販売	愛知県豊橋市
(株)松井製作所	プラスチック成形用合理化機器・システムの製造販売	東京都品川区
丸昭機械(株)	各種 線材 加工 用機械、各種 工作機械、専用 治工具・省力 自動機械、各種 試験機・設計製作	大阪市 平野区
(株)ハル技研研究所	金属工作機械製造	岡山県岡山市
(株)ニチゾウテック九州事業部	エンジニアリング、技術コンサルティング、メンテナンスの3つの事業領域を連携させた総合技術サービス	熊本県玉名郡
(株)テクノス	自動化システムの製作	群馬県伊勢崎市
(株)ユニ技研	部品供給装置、搬送装置、検査装置、計測装置、各種機械設計、製作	愛知県豊橋市
ダイセイ(株)	精密測定機器製造販売、工作機械製造販売	大阪府池田市
(株)日栄機工 	自動車部品製造用各種専用機製造	愛知県豊田市
ソノルカエンジニアリング(株)	コイルラインシステム、シャーライン、NCトランスファー、冷却システム	大阪府摂津市
(株)管製作所	CNC高圧洗浄機、専用工作機械	山形県天童市

(次頁に続く)

タイMM会 12社

会員企業	事業内容	会員企業	事業内容
CHIYODA KOGYO	チューブ及びパイプベンダー	NISSEN KOHKI	洗浄機、エアリークテスター
COSMO	プレス修理、オーバーホール	ROBOT SYSTEM	パレタイジング・溶接・搬送ロボット
DENYO ASIA	溶接ケーブル、溶接機、サーボガン	SORIME	機械設計・製造、機械電装設計
EUREKA DESIGN	洗浄機、リークテスター、専用機	TAKAHASHI METAL INDUSTRIES	洗浄機、乾燥機、治具、溶接部品
KANTO ENGINEERING	産業用メンテナンス	THAI TAKIGAMI	F A電装設計、溶接機、溶接治具
DENGENSHA	各種抵抗溶接機製造・販売	TOCHU	ショットブラスト装置、水平コンベア

F-MM会 (FOOD MAKER & MARUKA) 11社

会員企業	事業内容	所在地
トキワ工業(株)	自動包装機及び周辺機器	大阪府堺市
(株)コマック	自動制袋充填包装機械の製造	東京都足立区
高橋工業(株)	冷凍機・温湿調整装置製造	大阪府大阪市
(株)プラス機工インジコリング	利器工匠具等製造	愛媛県松山市
(株)平野製作所	産業用メンテナンス	千葉県印旛郡
マツダエース(株)	おにぎり箱詰め機	広島県広島市
(株)タイガーカワシマ	農業用機械製造	群馬県邑楽郡
(株)アースシステム 2 1	豆腐製造機械・製麺装置製造	岡山県岡山市
(株)ミヤザワ	食料品加工機械製造	長野県上伊那郡
エースシステム(株)	蒸気炊飯器、蒸気野菜調理器	大阪府和泉市
高橋金属(株)	洗浄装置製造、電解イオン水生成装置製造	滋賀県長浜市

海外売上高・商品別売上高（連結）

海外売上高（国内売り・海外仕向含む）

単位:百万円、%		18/11期 上期	19/11期 上期	前年 同期比
米	州	6,133	6,132	▲0.0
中	国	1,953	2,297	17.6
ア	タイ	950	1,328	39.7
	インドネシア	804	816	1.5
	マレーシア	3,147	3,328	5.8
ジ	フィリピン	262	197	▲24.8
	インド	345	159	▲54.0
	ベトナム	471	322	▲31.4
ア	シンガポール	9	49	420.3
	韓国	0	-	▲100.0
	その他アジア	-	43	-
アジア計		5,990	6,245	4.3
その他		11	43	280.8
合計		14,089	14,718	4.5

商品別売上高

単位：百万円、%

	18/11期上期		19/11期上期		前年 同期比		
	売上高	構成	売上高	構成			
産 業 機 械	工作機械	8,874	29.2	8,678	25.5	▲2.2	
	鍛圧機械	1,582	5.2	3,739	11.0	136.2	
	射出成形機	3,572	11.8	2,632	7.7	▲26.3	
	ロボット物流機械	1,323	4.4	1,546	4.5	16.9	
	環境設備	1,673	5.5	2,108	6.2	25.9	
	産業機械	2,463	8.1	2,999	8.8	21.8	
	食品機械	42	0.1	182	0.5	327.0	
	工具軸受油圧	1,602	5.3	1,370	4.0	▲14.5	
	産機部品	2,855	9.4	2,939	8.6	2.9	
	産機その他	1,586	5.2	2,527	7.4	59.3	
産業機械計		25,577	84.2	28,725	84.3	12.3	
建 設 機 械	油圧ショベル	27	0.1	-	0.0	▲100.0	
	建設用クレーン	2,082	6.9	1,153	3.4	▲44.6	
	基礎機械	406	1.3	1,737	5.1	327.6	
	その他建機	355	1.2	271	0.8	▲23.6	
	中古機械	1,110	3.7	1,268	3.7	14.2	
	建機レンタル	793	2.6	876	2.6	10.3	
	環境設備	1	0.0	1	0.0	0.7	
	トラクター	-	-	-	-	-	
	建設機械計		4,778	15.7	5,307	15.7	11.1
	保険・その他		28	0.1	29	0.1	1.3
合計		30,384	100.0	34,062	100.0	12.1	

業界別売上高（連結）

単位:百万円、%		18/11期上期		19/11期上期		前年同期比
		売上高	構成	売上高	構成	
産 業 機 械	自動車二輪	16,438	54.1	18,249	53.6	11.0
	農業機械	544	1.8	693	2.0	27.4
	電気電機	581	1.9	651	1.9	12.1
	建設機械	167	0.6	304	0.9	81.4
	工作機械	1,141	3.8	482	1.4	▲57.7
	その他機械製造	2,271	7.5	2,967	8.7	30.7
	精密医療機器	933	3.1	1,348	4.0	44.5
	IT関連	110	0.4	116	0.3	5.3
	食料品	47	0.2	176	0.5	271.5
	鋼製家具	39	0.1	27	0.1	▲29.6
	合成樹脂	1,195	3.9	1,161	3.4	▲2.8
	プラント加工機	-	0.0	-	0.0	---
	繊維機械	20	0.1	5	0.0	▲75.5
	防衛	90	0.3	98	0.3	9.3
	エネルギー・化学	41	0.1	39	0.1	▲6.1
	住宅建材	-	0.0	-	0.0	---
	リース	84	0.3	114	0.3	34.8
	商社	66	0.2	383	1.1	475.1
	造船	6	0.0	0	0.0	▲99.1
	鉄道運輸	109	0.4	68	0.2	▲37.6
航空機	285	0.9	320	0.9	11.9	
その他	1,410	4.5	1,524	4.6	8.2	
合計		25,577	84.2	28,725	84.3	12.3

単位:百万円、%		18/11期上期		19/11期上期		前年同期比
		売上高	構成	売上高	構成	
建 設 機 械	ゼネコン業者	113	0.4	57	0.2	▲49.3
	物流	234	0.8	202	0.6	▲13.6
	基礎	894	2.9	1,276	3.7	42.8
	チャーター	958	3.2	907	2.7	▲5.3
	土木・建設	1,028	3.4	1,024	3.0	▲0.4
	商社	252	0.8	695	2.0	175.7
	レンタル	503	1.7	505	1.5	0.4
	広告	132	0.4	105	0.3	▲20.7
	その他	660	2.2	532	1.6	▲19.4
	建設機械計	4,778	15.7	5,307	15.6	11.1
	保険・その他	28	0.1	29	0.1	1.3
	合計		30,384	100.0	34,062	100.0

注意事項

本資料中の予想は、決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。